学校番号	３２７

令和８年度　情報科（国際文化科）

教科	情報	科目	情報Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	情報Ⅱ（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

●情報Ⅰで学んだことをより深く探究していきます。実践が多く、学習分野の知識のみならず関連するコンピュータスキルやモラルなど、少しずつ理解の幅を広げていきましょう。
●学習用の個人端末(Chromebook 等)を利用し、授業外でも予習復習などに利用して、学習姿勢を改善しながら学びを深めていきましょう。
●グループワークが多くあります。自分の思考を整理しつつ、他の人の意見を取り入れたり、自分の意見を適切に伝える練習にしたりするなど、機会を活用していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
（１）多様なコミュニケーションの実現，情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
（２）様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的，創造的に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
（３）情報と情報技術を適切に活用するとともに，新たな価値の創造を目指し，情報社会に主体的に参画し，その発展に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	多様なコミュニケーションの実現，情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報技術の発展と社会の変化について理解を深めている。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的，創造的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，　自ら評価・改善し新たな価値を創造しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	情報社会の進展と情報技術	1 POSシステムを調べる 2 人工知能と仕事を考える 3 人間の知的活動への影響 4 コミュニケーションの多様化	a: 情報技術の発展による人の知的活動への影響について理解している。 b: コミュニケーションが多様化する社会におけるコンテンツの創造と活用の意義について考察している。 c: 情報社会における問題を発見し，解決に向けた提案を行うために，情報技術を適切かつ効果的，創造的に活用しようとしている。また，自己調整しながら，解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとしている。	単元テスト	プリント・ワークシート レポート	観察 振り返り まとめプリント
	コミュニケーションとコンテンツ	1 うわさの研究 2 地域のデータを可視化しよう 3 メディアの特性と利用	a: コンテンツを様々な手段で適切かつ効果的に社会に発信する方法を理解している。 b: 情報デザインに配慮してコンテンツを制作し，評価し改善することができる。 c: コンテンツを社会に発信した時の効果や影響について考えようとしている。	単元テスト	プリント・ワークシート レポート	観察 振り返り まとめプリント
2学期	情報とデータサイエンス	1 社会にあふれるデータ 2 データを地図上に可視化する 3 ガチャは何回引けば当たるのか 4 データを整理しよう 5 キーボードの配列を研究しよう 6 星座ランキングを分析しよう	a: 多様かつ大量のデータの存在やデータ活用の有用性，データサイエンスが社会に果たす役割について理解し，目的に応じた適切なデータの収集や整理，整形について理解し技能を身に付けている。 データを収集し，整理し，整形することができる。 c: データを適切に扱うことによって情報社会に主体的に参画しその発展に寄与しようとしている。	単元テスト	プリント・ワークシート レポート	観察 振り返り まとめプリント
	情報システム	1 情報システム 2 情報セキュリティ技術 3 小さな情報システムを作ろう	a: 情報システムを構成するプログラムを制作する方法について理解し技能を身に付けている。 b: 情報システムを構成するプロ	単元テスト	プリント・ワークシート レポート	観察 振り返り まとめプリント

		4 テキストマイニングしてみよう	グラムを制作し，その過程を評価し改善することができる。 c：情報システムの設計とプログラミングに関わり，自分なりの新しい考え方や捉え方によって粘り強く解決策を構想しようとしている。			
3学期	情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究	1 プレゼンテーションのポイント 2 プレゼンテーションの評価 3 問題解決のツール	a：情報の科学的な見方・考え方を働かせて，情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識・技能を自ら深めている。 b：情報と情報技術を活用した問題発見･解決の探究を通して，「情報Ⅰ」及び「情報Ⅱ」で身に付けた思考力・判断力・表現力を総合的に活用して思考・判断・表現している。 c：情報と情報技術を活用して問題を発見･解決する活動を通して，新たな価値を創造し，情報社会に参画しその発展に寄与しようとしている。	単元テスト	課題	観察 振り返り まとめプリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度